



あゆみ

No. 186

令和 7年12月16日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680
TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
Instagram「れいざんのニコニコ日より」毎週火曜日更新中



くもと 障がい者芸術展

出展された皆さんです。
色づかいや構成が、ご本人らしい素敵な作品になりました。

『サロンのお手伝い』

施設長 鮎田 一夫

今年も残り三週間ほどになりました。インフルエンザで幕を開けた令和七年でしたが、今のところ利用者の皆さんは風邪も引かずお元気です。このまま年の瀬を迎えたいと思っています。

さて、今回はサロンのことをお話します。サロンとは、全国社会福祉協議会が中心となって、高齢者が生き生きとした生活を送れるようにという主旨で全国的に展開されている活動です。啓明会のある本町にもいくつかサロンがあります。苓山寮第二苓山寮では、そのうちの「あみださまサロン」のお手伝いを、相談支援専門員を中心に平成三十年から行っています。あみださまサロンは月一回様々な活動をされています。端午の節句の飾り物や七夕、お雛様の飾

り物を作ったり、多肉植物の寄せ植え、冬を越す花々の寄せ植え、料理教室、クリスマスケーキ作り、陶芸教室など頭や身体を使うこと、映画鑑賞、花見など外へ出かけることなどその活動は多彩です。当施設では毎回、相談支援員が参加していますが、その他に出かけるときはバスを出したり、施設の資源を使ってもらうこととして、陶芸教室をしたり、栄養士がクリスマスケーキ作りの指導をしたりしています。先日、副施設長が寄せ植えづくりに参加してきましたが、とても面白かったし参加されたお年寄りが皆元気で楽しかったと言っていました。本当に小さな地域貢献ですが今後もお手伝いできればと思います。また同時に、利用者の皆さんとのふれあいをもっと進めば更に嬉しいことだと感じています。

サービスの現場より



『四半世紀2025年も残りわずか』
苔山寮管理課長 若田 雅哉

二一世紀当初には①「高齢化社会」

②「人材不足」③「外国人雇用」④「AIの参入」等の今後の社会問題の予想が飛び交っておりました。福祉業界でもどうなるのか？そうなるってしまうのか？二五年前の自分は想像できませんでした。

【現在の施設環境】

①支援学校卒業の方や若い方の入所が多くなっております、利用者の平均年齢は年々下がってきてます。

苔山寮 最年少十八歳、最年長九一歳

第二 最年少二十歳、最年長八二歳

②職員の離職率が少し上がり、ハローワークや職員への依頼回数が増えております。（自己都合の退職者が微増（定年退職前））

③正に十二月よりミヤンマーの方二名を雇用いたしました。（苔山寮）

（派遣会社（株）MIRAIへ依頼、四名面接し二名採用しました。）

④支援記録ソフトの導入を考えております。

このように二五年前と比較しますと利用者の入退所やサービス（措置から契約）のやり方もサービス料請求（単価や加算）も変化しています。施設のハード面（居室や廊下の㎡数等）の規定変化もそうです。たつた四、五年前の常識でも違いを著しく感じています。（利用者へのサービスや計画、若い職員の考え方、捉え方、それに対応する施設整備等）

これからの二五年もどう変わっていくのか自身で想像力を持ち、過去の良い考え方、現在の考え方をうまく中和し、他職員と情報を共有し、利用者の皆さんが安心安全に生活できる施設環境を都度進化できるようにサポートできればと思っています。



『担当利用者さんへの
取り組み』
苔山寮支援副主任 山本 勇太

私が担当させて頂いているTさんはいつものニコニコ笑顔で、とても優しい性格の方です。活動では、毎回の歩行、リズム体操へ積極的に参加されております。歩行では、最前列を黙々と歩き歩行スピードもかなり速いです。リズム体操は特にお好きなようで、曲が流れてくると手を叩きリズムを取ったり、体を動かし楽しんでいます。

日々の取り組みとしては、毎日の清掃、寝具の整理に力を入れています。掃除が始まると支援員が準備した掃除機を使用し、みんなが集めたゴミを綺麗に吸って頂いております。数年前から継続して取り組まれており、定着しつつある役割の一つとなっております。掃除の後にみんなから「ありがとう」と声を掛けられ、とても嬉しそうな表情をされております。居室の清掃では、棚の埃を取ったり、寝具を綺麗に畳む作業に取り組まれています。今後も活動はもちろんです、毎日の清掃、寝具整理にもTさんが楽しく取り組めるようサポートをさせて頂きたいと思っています。



『担当利用者さんへの取り組み』
第二苔山寮支援員 鶴田 浩隆

私が担当させて頂いているS

さんは、普段から色々な事に興味を持たれており、よくテレビのニュースを職員に教えて下さいます。Sさんは現在七二歳、耳が遠く視界も狭く転倒の危険性が非常に高い方です。屋外を歩いている時も近付いてくる自動車に気付かれないこともある為、必ずマンツーマンでの支援を行っています。しかし、ご本人は外出をととても楽しみにされており、外出の際には落ち着いて移動するように毎回声を掛け安全面に配慮しています。主な外出先として、今年度は天草島内の温泉を巡っています。

「昔行った道後温泉にまた行きたいです。」とも話をされており、ご本人の希望に添えるよう今後の支援に活かしていきたいと思っています。又、温泉巡りの他には映画にも興味を持たれており、施設内では大きなスクリーンを用いて映画を上映したり、個別に居室の天井に映画を映し、横になったまま映画を見てもらう等の支援をしています。年明けには本渡第一映劇への外出も予定しています。

今後もご本人の希望を取り入れ充実した施設生活が送れるよう支援していきたいと思っております。



『スッさんとナンダーさんを迎えて』

荅山寮副施設長 鮎田 逸子

福祉業界は常に人手不足に悩まされてきました。

当施設も例外ではありません。今まで何とか人材を確保してきましたが、将来人口減の甚だしい天草ではやがて人の確保が難しくなってくるのは明らかです。そこでミャンマーから特定技能実習生二人を受け入れることとし、管理会社を通してオンラインで面接して二名を選びました。面接は日本語でしたが、対象者は面接の練習を予め行っているのです、その面接だけでは正直日本語の本当のレベルは分かりません。又、管理会社がビザの申請、入国の手続き等面倒なことは一切引き受けてくれ、天草まで連れてきて生活のスタートが切れるよう市役所での手続き、買物、ゴミ出しなど生活上のルールもある程度レクチャーを行ってくれます。しかし、住処を探すこと、家財道具をある程度揃えること、管理会社との細かいやりとりなど施設側の手間も結構かかりました。職員に呼びかけて電化製品、自転車、布団等ある程度揃えることができ、付き添ってきた社員がここまで揃えてくれる施設はそんなにはないと言ってくれました。アパート、電気水道ガスの契約、管理会社との何度もの細かいやりとり等事務が一番大変だったと思います。思っていた以上に外国人を受け入れるためには時間的人的負担がありました。費用対効果で考えればプラスになるのかどうか、今のところ分かりません。しかし、見知らぬ異国で生活をしながら家族に仕送りをしようとしている彼女達を支え励まし育てていくことが、小さな国際貢献にもなるでしょうし、また、天草という狭い世界で暮らしている私達にどんな世界を見せてくれるのか、楽しみにしようと思っています。目下の彼女達の望みは雪を見ることだそうです。今年の冬、天草にも雪が降りますように。



『全国知的障害福祉関係職員研究大会 福島大会に参加して』

荅山寮支援副主任 元島 加良子

十一月二七日から二日間の日程で全国知的障害福祉関係

職員研究大会が福島県にて『明るく未来と未来の福祉へ支援に携わる職員が福祉の未来を形作る』をテーマとし開催されました。

初日は厚生労働省障害福祉課長による行政説明が行われ障害福祉施策の動向について沢山のデータを提示され一時間程の説明がありました。又、文部科学省の取組についても紹介頂き今後の事業への期待感を感じました。後半の基調講演では世界的ピアニスト辻井信行氏の母辻井いつ子氏による『明るく、楽しく、諦めない』を演題とし辻井信行氏とのエピソードを通して子供の才能の見つけ方、伸ばし方、明るく諦めない生き方についてのお話がありました。その経験談と利用者支援に通ずるものがあると感じ「可能性を信じる。思いっきり褒める。ひらめいたら即アクション」等才能を引き出す法則について興味が湧くと共に新たな学びがありました。

二日目には午前・午後と自身で選択した講義を受けました。午前の部は「毎日を大切に生きる」利用者の望む暮らしと私達の仕事」を選択。東洋大学教授の講義では私達の『しごと』は『志事』であり、利用者の望む暮らしに向って『あきらめない』志を持ち共に歩む事、そこに私たちの『しごと』の価値があるのではないかと問われました。私達は利用者の皆さんと共に未来を拓くパイオニアである。その言葉の重みをとて深く受け止める事が出来これからの支援に繋げていければと感じました。午後の部は「障害支援におけるIT・AI導入と工賃向上」の講義を選択。分科会の中で唯一グループディスカッションのある講義で、他県の職員の方々との意見交換の時間を経験する事が出来、充実した研究大会となりました。

第3回 管内研修 10月22日



人権研修として吉岡健仁先生にお越しいただき、今年度で8回目となります。

『箸よく盤水をまわす』という演題で始まった研修ですが、小さな努力を継続すれば、やがて大きな成果を生むという意味があるとのことで、吉岡先生の経験や豊富な知識を交えながらの講話の中には新たな発見や改めて考えさせられる事も多く、貴重な時間となりました。失敗から行動へというお話がありましたが“反省はしても後悔はしない”日々、発見やチャレンジに繋が精進していきたいと思います。

創立58周年記念 11月18日

利用者の方と職員と一緒に合奏し歌を唄い、練習の成果を披露する事が出来ました。

又、これまでの軌跡となるメモリアルクイズを行い、過去の作業風景や行事等を皆で思い返し、職員からエピソードを話して頂き心に残る式となりました。



亀小交流会

今年も亀川小学校5年生の生徒の皆さんと交流会で楽しく交流する事が出来ました。

この交流は7月に福祉説明会、10月に交流会、2月に椎茸の駒打ち体験と、毎年計3回の交流機会が設けられています。交流は26年程続いており、初回の26年前に当時5年生だった少年が今では当施設の職員となり、一緒に福祉の世界で働いてくれています。利用者の皆さんも、毎年元気いっぱいな子供達とふれ合い、交流する事をとても楽しみにされています。



第二苓山寮釣りサークル

天草の魅力の中で素晴らしい海があります。地域の資源を活用し、自分の生活している環境をより楽しんでもらえるように第二苓山寮では「釣りサークル」があります。研修などで様々な施設との交流がありますが、釣りサークルの話をするとうれやましがられたりします。利用者さんも「次はどこ行くと？なんば釣りに行くと？」と毎回楽しみにされています。春、秋の気温が安定している時が中心ですが、今後も安全に考慮し楽しんで頂ければと思います。



キャンプ 12月2日～3日

苓山寮利用者、職員の計9名で一泊旅行へ行ってきました。行先は新和町の竜洞山緑の村、12人用バンガローを1棟借りて宿泊。参加された利用者さんは自閉症の方で拘りも強く、他者との旅行では一緒に行動する事が難しい方を対象として、昨年より計画し実施しています。バンガローでは夕食に鍋を提供、飲食が一番の楽しみとあり、よく食べ、ジュースにおかしも楽しめました。環境が変わると普段施設内では見られない一面が見られましたし、社会資源を利用した一つの経験となっていたと思われます。



へ新職員紹介へ

よろしくお願いします。



あらまき なつき
荒巻 奈月さん
苓山寮調理員



おかべ くるみ
岡部 来碧さん
苓山寮支援員



ナンドー リンさん
苓山寮支援員
(特定技能実習生)



スッ タンダー トヴェーさん
苓山寮支援員
(特定技能実習生)

の地域親善ソフトボール大会

苓山寮用務員 吉村 裕貴



十一月二日、本町ソフトボール大会が本町小学校グラウンドであり、私も啓明会チームで参加させていただきました。最近運動不足だったので、怪我をしないよう試合前には体操と軽いキャッチボールをして身体を慣らし試合に望みました。

守備は外野を守りました。

結果は一勝一敗でしたが勝敗に関係なく、同じ職場の人達や地域の方々と一緒に楽しむことが出来て、とても充実した一日になりました。



日常生活の風景



田中 忠信さん

忠信さんは、とても明るく元気のいい方で得意なことでは絵を描く事です。毎日、得意な絵を描いて「これやる」と周りの方に配って下さり「あつはつは！」と最高のスマイルを振りまいてくれます。また、気分が良い時には「握手」やハグまで求められる事もあり、握手等を返すと「ありがと」と忠信さんも嬉しいよう顔で隠し照れ笑いも浮かべられます。ご高齢になれましたが、まだまだ元気一杯!! パワフルに楽しく笑顔で過ごされております。

脇中 千賀子さん



外出されることが大好きで、お洒落をして行きたい所や食べたい物を一緒に考えてお出掛けします。今月は出かけましょうとお話すると、とびきりの笑顔で「楽しみ」と話され、その日から毎日「何日に行く」と「どこに行く」と楽しみにされています。六月から暫く入院され退院後はペースト食になられ、体調も悪く外出する事が出来ていませんでした。最近随分と良くなってきたので、脇中さんの行きたい所や食べたい物を沢山食べに外出しようと思っています。

へ行事予定へ

十二月

二六日 餅つき・オープンカフェ
二九日 御用納め

一月

一日 元日
五日 御用始め
六日 えがおの会
七日 鬼火焚き
十二日 成人の日



へ編集後記へ

師走を迎え、何かと慌ただしい時期となり、令和七年も残りわずかとなりました。秋が短く感じられるような気候でしたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。本年は米価高騰対策として備蓄米の放出や大阪・関西万博の開催、日本初の女性総理誕生など、社会全体としても変化の続く一年でした。苓山寮におきましても、変わりゆく時代に対応するべく、日々の支援の質の向上と、職員一人ひとりのスキルアップに取り組んでまいりました。

来る令和八年は午年、行動力や力強さ、前進を象徴する年とされています。皆様に安心してご利用いただける施設を目指し、より一層努力してまいります。寒さ厳しい折ではございますが、どうぞお身体にお気をつけて、健やかに新年をお迎えください。

来年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

